

調査概要

(1)本調査の目的

本調査は、大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るために実施しているものです。

また、市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立するためのものでもあります。

(2)調査の対象学年・学校・生徒数

(9月5日に調査を実施した学校・生徒数は以下のとおり)
中学校第3学年 門真市:6校 650人

(3)調査内容

(調査を実施した教科は以下のとおり)
中学校第3学年 国語・社会・数学・理科・英語

(4)大阪府公立高等学校入学者選抜への活用について
中学生チャレンジテストは、大阪府高校入試の調査書(内申書)の資料として活用されます。

調査結果の概要

【全体】

- ・国語、社会、数学、理科、英語の各教科において府平均を下回っており、府とは5.9～9.7の得点差が見られます。
- ・平均点における対府比較では、門真市は府100に対し約82.1～90.5となっています。

【同一集団】

- ・1年生時の同調査(令和4年1月実施)と比較すると、すべての教科において府平均との差が広がりました。
- ・2年生時の同調査(令和5年1月実施)と比較すると、英語の教科において府平均との差が縮まりました。国語・社会・数学・理科の教科において府平均との差が広がりました。

【異集団】

- ・令和4年度の同調査と比較すると、社会の教科において府平均との差は変化がありません。国語・数学・理科・英語の教科において府平均との差が広がりました。

○本市では、門真市版授業づくりベーシック(学習指導要領に基づいた授業改善)を推進しています。その成果を大阪府「平均正答率7割以上の問題」において見図っており、本市においても同じく正答率7割以上を目指すということを一つの目標として取り組んでおります。その観点において、今回の結果は以下の通りでした。

国語【全33問中】大阪府(10問)門真市(9問) 社会【全37問中】大阪府(7問)門真市(4問) 数学【全32問中】大阪府(7問) 門真市(4問)
理科C【全30問中】大阪府(7問)門真市(5問) 英語【全35問中】大阪府(9問)門真市(5問)

学年・教科別得点

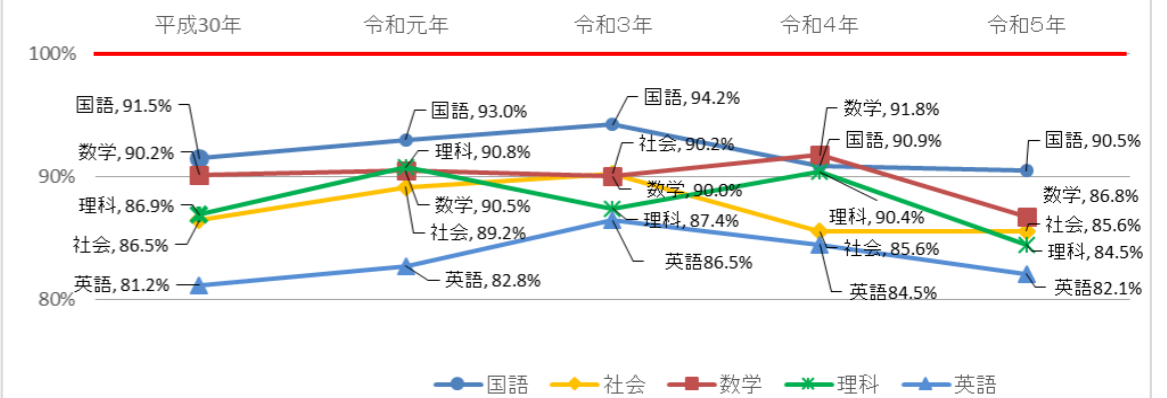
平均得点

	令和4年度(3年生)		令和5年度(3年生)	
	門真市	大阪府	門真市	大阪府
国語	48.9	53.8	56.2	62.1
社会	47.4	55.4	46.8	54.7
数学	51.4	56.0	45.3	52.2
理科	52.7	55.9	40.2	47.6
英語	45.8	54.2	44.5	54.2

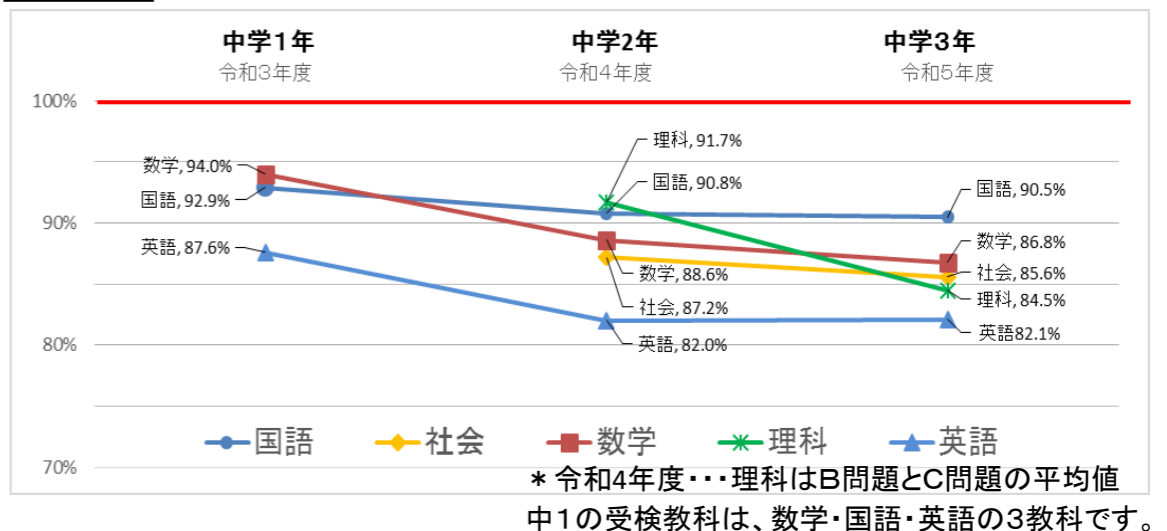
* 令和4年度 理科は、B問題(3校)・C問題(3校)を選択

平均点における対府比較及び経年比較

異集団



同一集団



今後の取組みについて

【今後に向けて】

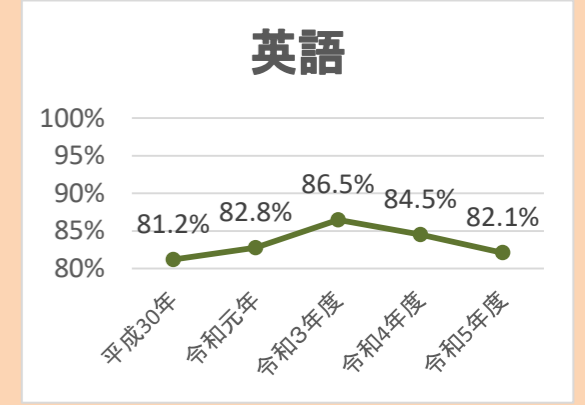
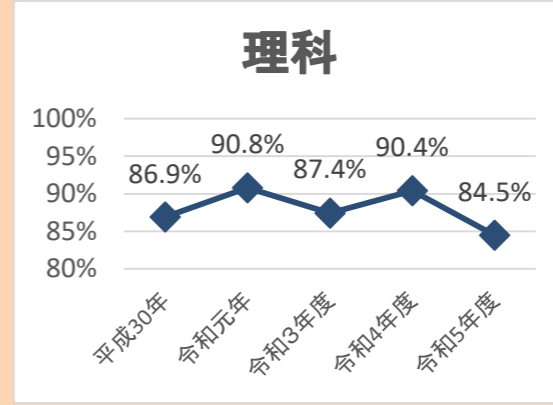
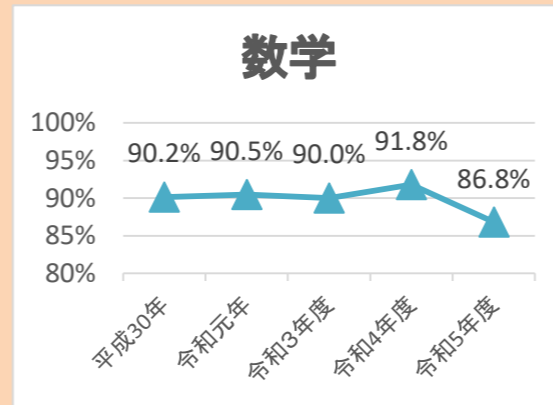
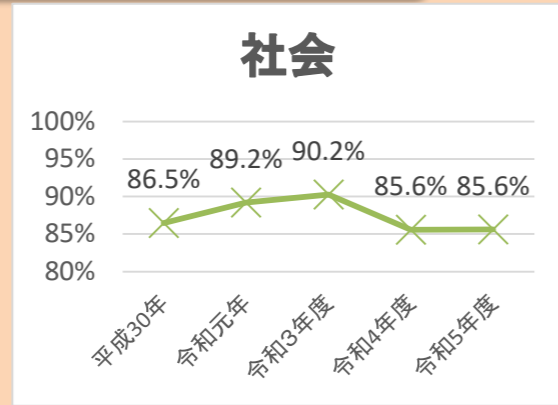
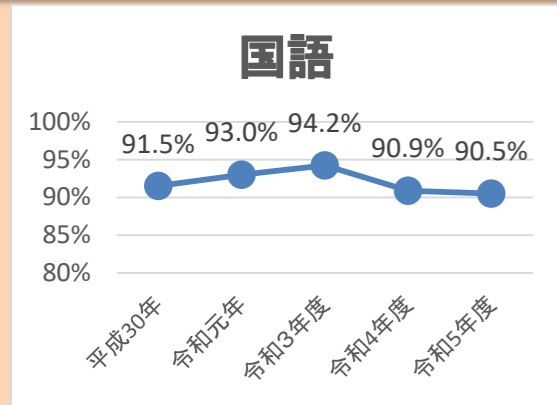
○門真市教育委員会では、令和3年度より学校とともに、門真市学 力向上アクションプランに基づき、様々な取組を推進してまいりました。

今年度は、3年目の集大成として取組を推進するとともに、今までの総括と見直しを行い、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な授業の実現に向けて、授業改善を進めます。

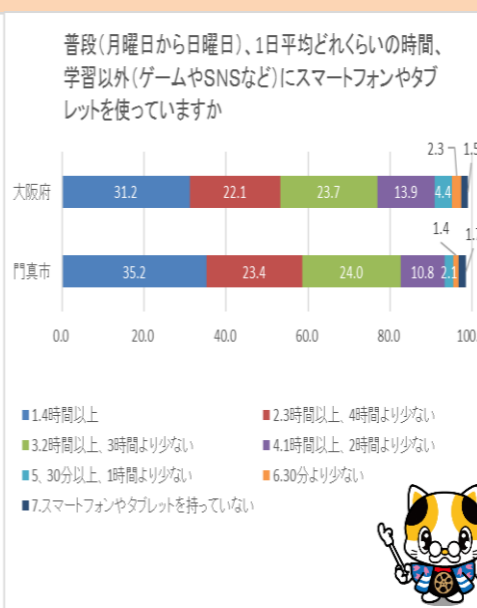
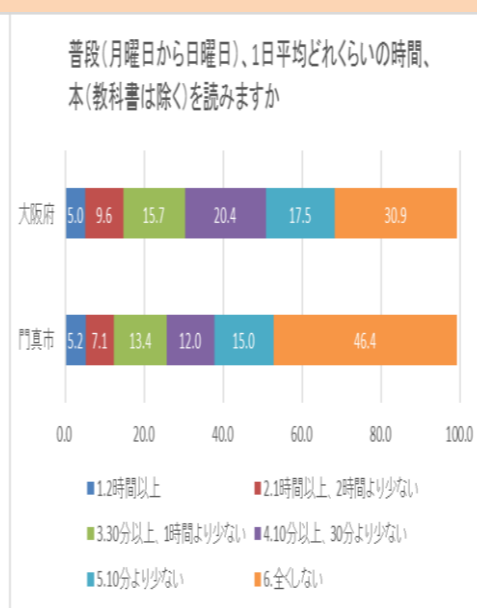
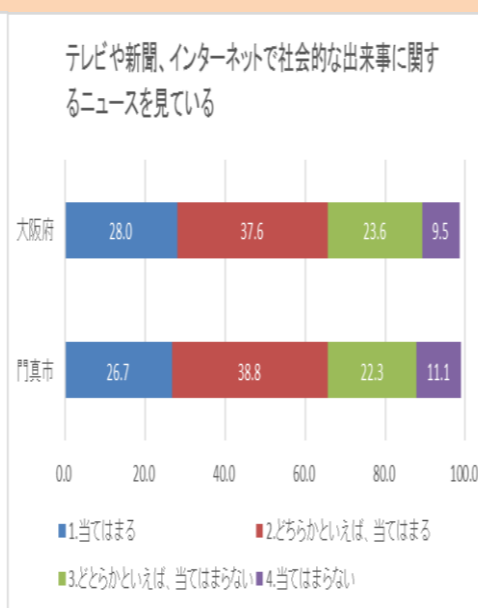
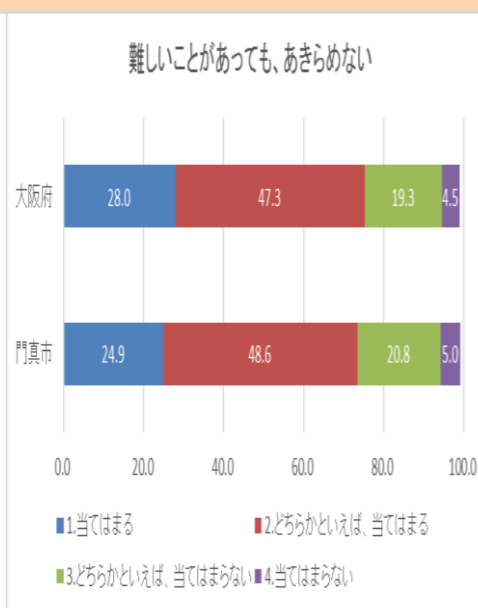
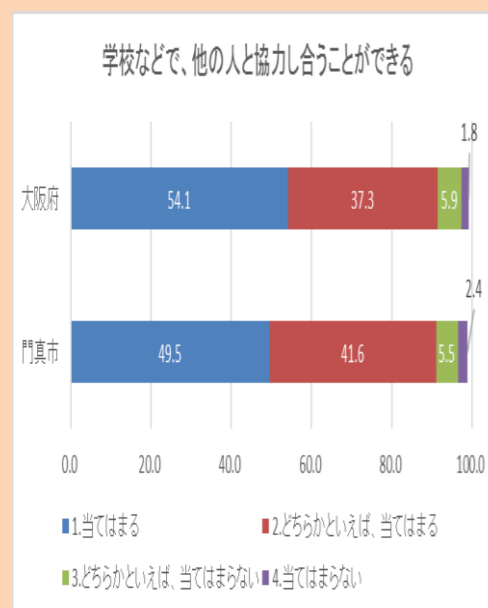
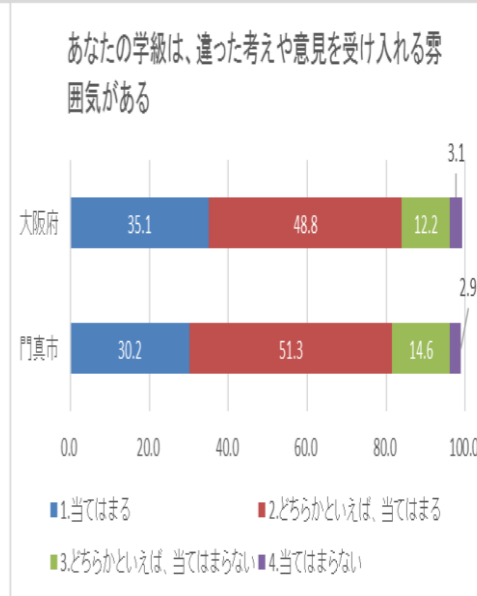
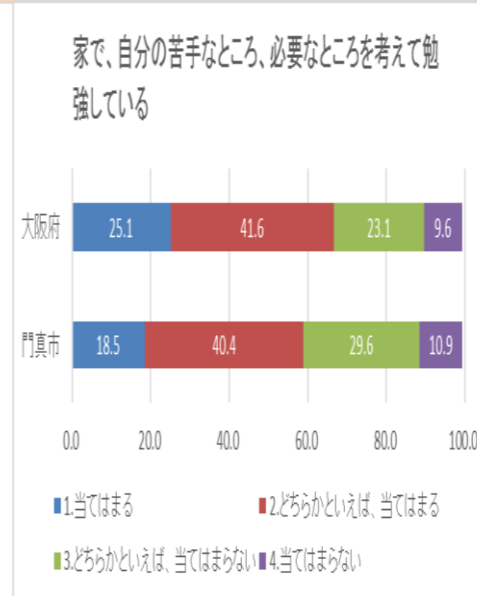
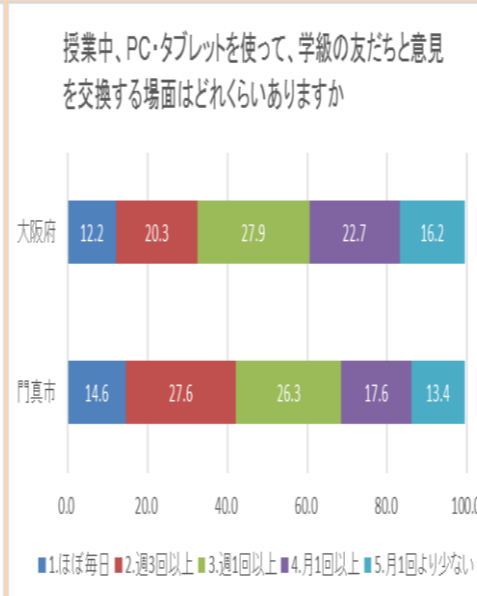
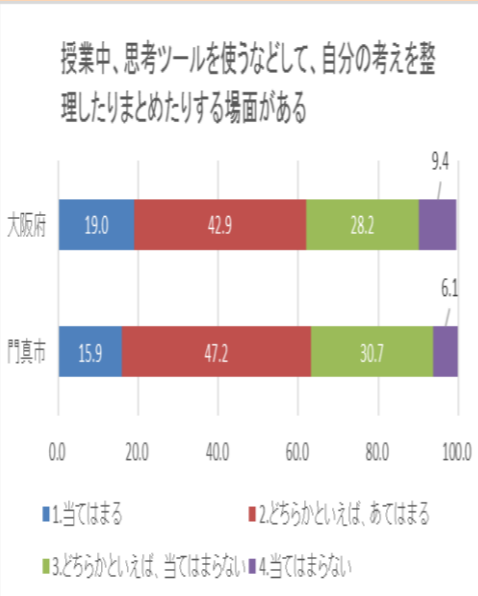
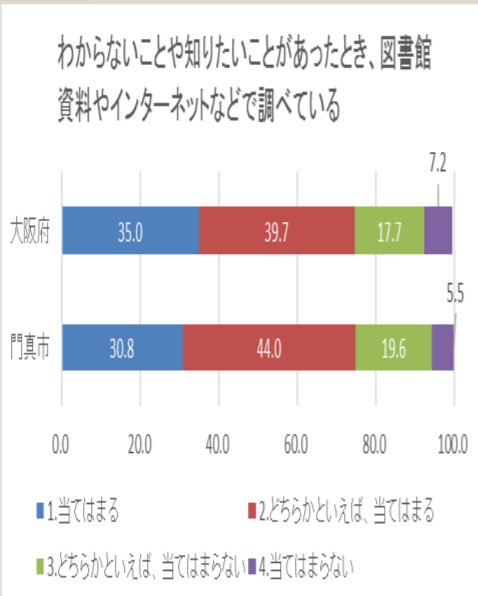
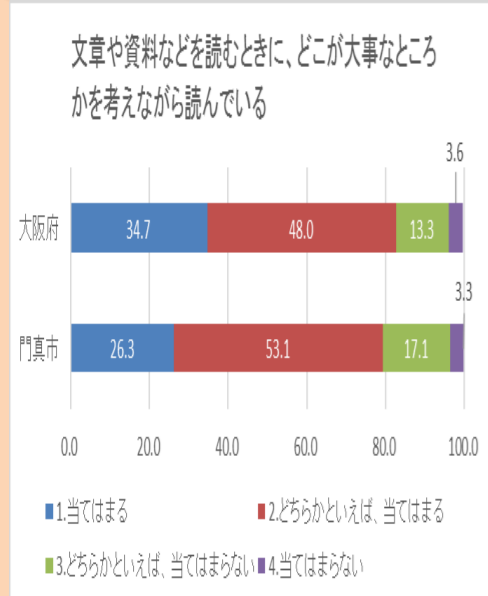
○学校と教育委員会が一体となり、子どもたちの学力向上の取組を推進しております。引き続き、子どもたちの確かな学力の育成に向け、学校における学力向上の取組を支援して参ります。保護者の皆様のご 協力と支援を引き続きよろしくお願い致します。

※ 今回お知らせする調査結果につきましては、学力や学習の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などの全てを表すものではありません。

平均点における対府比較の経年変化(教科別)



生徒アンケート(対府比較)



お願い

今後も学校と門真市教育委員会が連携し、チャレンジテストの結果分析も行い、子どもの力をより良く育成できる授業改善及び学校教育環境の改善をさらに行ってまいります。

保護者の皆様には、結果が返却される機会に、お家でもお子さまと、学習に関することに加え、スマートフォンやタブレットの活用など、生活習慣について、お話しする機会をつくっていただきますようお願い致します。

※ 無回答があるため、全ての数値を足しても、100%にはなりません。